

事業活動実績報告書

施 設 名	葛飾若草幼稚園
教 育 理 念	・子ども一人ひとりの発達段階に即した保育を行う ・体験学習を通して豊かな心情や知的好奇心を高める

1 事業名	茶道体験・お雛様見学・古民家での季節の収穫等の体験
2 実施期間	令和7年5月12日 ～ 令和8年2月16日

3	取組概要	（取組日） 令和7年 5月12日 ～ 令和8年2月16日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・5/12、5/19、6/2、1/19、1/26、2/16に年長組が2クラスずつ古民家カフェにて茶道体験を行う。 ・保護者の参観も実施し、子どもと体験して楽しむ。 茶器やその他の茶道具に実際に触れて、重さや形等を感じる。 お茶の作法を体験する。 古民家の庭にある果樹の採取を楽しむ。	
		（取組日） 令和7年 5月12日 ～ 令和8年2月16日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 同 上	
		（取組日） 令和7年 5月12日 ～ 令和8年2月16日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 古民家での果樹収穫	
		（取組日） 令和7年 5月12日 ～ 令和8年2月16日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 同 上	

3	取組概要	(取組日) 令和7年4月16日 ～ 令和8年3月31日	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること ・学年ごとに古民家カフェに飾られているお雛様や花嫁衣裳等の見学をしに行く。 ・お雛様の由来や人形等の名称に触れ、お雛様の歌を歌ったり、和菓子を食べて楽しむ。	
		(取組日) 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 同 上	
		(取組日) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
		(取組日) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
		(取組日) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日	
		(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
(取組日) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日			
(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 		写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの	

効果検証報告書(継続事業用)

施設名		葛飾若草幼稚園				
教育理念		・子ども一人ひとりの発達段階に即した保育を行う ・体験学習を通して豊かな心情や知的好奇心を高める				

事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
	健康	人間関係	環境 ◎	言葉 ○	表現 ○
1 事業名	茶道体験・お雛様見学・古民家での季節の収穫等の体験				
2 事業概要	・日本の伝統に触れる機会を持ち、伝統を培う根っこを育てる ・古民家の庭にある果物(みかん等)の収穫等の体験(季節を味わう)				
3 対象学級(クラス名) 対象人数	茶道:年長組(クラス名:梅組) お雛様見学:全学年 (ひよこ組、桃組、桜組、梅組)			163 名	
計画時 4 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況				
	古民家カフェ・庄右衛門にて部屋を借りて実施 ・茶道:年12回(年長組対象) ・お雛様見学:2月～3月にかけてクラス毎に古民家に飾られた沢山の歴史あるお雛様を見学する ・茶道を教える人員、補佐する人員、準備・片付けをする人員(計4人) ・お雛様を飾る、片付ける人員、園より園バスにて送迎するための人員 ・園児の誘導・引率人員				
事業後	4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等			
	(効果) ・茶道:年12回(年長組対象) ・人員を増やした結果、落ち着いて実施することができた (改善点) 昨年度の反省を踏まえて実施したため、改善点は特に見受けられなかった。				
計画時 5 事業のねらい	・日本の伝統文化を日本家屋にて体験する ・古民家の庭にある果物(みかん等)を収穫する経験を通して季節を味わう。(収穫可能な果実の生育状況を逐一報告してもらい、日程を調整する) ・民族学者の方や近隣の地域の方々から借り受けた古いお雛様等の用具を実際に目で見ることで日本の歴史や伝統等を学び、興味をもつ。				
	事業後 5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等			
		(効果) ・収穫可能な果実の生育状況を報告してもらったことで、確実に収穫をして楽しむことができた。 (改善点) 昨年度の反省を踏まえて実施したため、特に改善点は見受けられなかった。			
計画時 6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等				
	古民家カフェ・庄右衛門にて部屋や庭園を借りて実施 ・茶道:年12回(年長組対象):実施時間を長めに設定、保護者の参観を実施 1クラス4回体験(茶器の名前にふれる、お茶のお作法、抹茶や季節感を感じられる和菓子を食す) ・お雛様見学:2月～3月中に5日間の予備日を設けつつクラス毎に古民家に飾られた昔ながらの沢山のお雛様を見学し、お雛様の由来や人形等の名称を知る、お雛様の唄を歌う。 近隣の地域の方々より代々伝わるお雛様や花嫁衣装の着物をその時期のみお借りして展示することで日本の伝統・歴史を感じられるようにする。保護者の参観を実施 古民家カフェ・庄右衛門にて部屋や庭園を借りて実施				
	上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点				
	環境の領域の「身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。」という「ねらい」に即し、「日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ」という「内容」について、本園では茶道体験やお雛様見学等の日本の伝統文化を見たり、聞いたり、体験する場を設けることで、将来の国民としての情操や意識の芽生えを養えるように取り組みを発展させた。				
	(継続事業のみ記入)前年度の取組から発展させた点				
		・保護者の参観を1回から2～3回と増やし、子どもと共に体験を楽しめるようにする。			

計画時	事業後	6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 (効果) ・茶道: 年12回(年長組対象) ・お雛様見学の予備日を数日設けたことで、天候に左右されず余裕をもって実施することができた。 ・保護者にも参加してもらったことで、伝統文化に興味を持つようになり、継承に繋がる。 (改善点) 保護者が参加できる日にちをもう少し増やせるように日程調整が必要。
	7 環境構成例		・古民家カフェ・庄右衛門にて部屋や庭園を借りて実施 ・茶道: 床に赤絨毯を敷き、茶器や懐紙など実際の道具を用意する。 ・お雛様見学: 近隣の地域の方や卒園生の保護者、親族から寄附したり、貸していただいた沢山のお雛様を古民家に飾る。幼稚園の園児が作成した手作りのお雛様も一緒に飾る。
	事業後	7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 (効果) ・古民家を利用することで、伝統的な家屋の造りや空間を体験することができた。 ・沢山のお雛様を見比べることで、人形の顔や飾りの違いに気付くことができた。 ・お雛様の前で歌を歌うことで、より歌詞が慣れ親しみやすくなった。 (改善点) 昨年度の反省を踏まえて実施したため、特に改善点は見受けられなかった。
	8 期待される効果 児童の姿		取組を通じて期待される児童の姿や効果等 茶道の楽しさ、古民家ならではの日本家屋の様式を知り、日本の伝統文化の良さを味わう。
	事業後	8についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 (効果) ・茶道体験を通して、茶道の楽しさに触れ、興味・関心を持つようになった。 ・正座の仕方や、こ挨拶の仕方などを体験することができた。 ・Instagramやブログで園児の様子や茶道やお雛様の様子を配信することで、保護者の方にも興味関心を持ってもらうことができた。 (改善点) 保護者にも参加できるように日程調節する。
	9 効果検証総括		事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて ・日本の伝統的な家屋である「古民家」にて、茶道やお雛様見学等を体験することで普段の保育では経験できない所作や雰囲気を楽しむことができた。日本の伝統的な行事に興味関心を持てるようになったので、引き続き行っていきたい。 ・1年間の茶道体験を通して、所作を覚え、一連の動作を丁寧に行うことができるようになり、年長組の落ち着いたきにも繋がるので、今後も引き続き実施していきたい。 ・古民家の庭にある果実の収穫は、時期や天候によって左右されやすいので今後も出来具合を見ながら進めていきたい。 ・今後は更に茶道体験やお雛様見学も、保護者の参加を多くできるように日程の調整をしていきたい。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。